そうだな。お父さんが小さいころは、隣のおにいさんたちに遊んでもらったりしていたけど、今はそういう機会がなくなったもんな。
そうね。
市の青少年課が、小さなお子さんがいる若い夫婦を対象にした子育て教室「はじめの一歩」などを開催するそうよ。幼いうちから、いい家庭環境を作ろうということなの。よくいうじゃない、三つ子の魂百までって。これをロングスパン教育っていうそうよ。
ホント、子どもを育てるって、幼いときからのいろんな積み重ねが大切だもんなぁ。
次に、成長してきた子どもを、地域を面と考え、面全体で育てようということなの。つまり、学習の場を地域全体に広げようということらしいのよ。去年から始まった『MT夢クラブ21』もその一つだそうよ。
そういえば、学校の部活動の指導は、今まで学校の先生が中心だったよな。子どもも、地域の人たちとかかわり合うことも大切だよな。
そうなの、今ではいろんな人が子どもたちと関わりをもってくれているでしょ。伊深町では、「土曜伊深っ子クラブ」といって土曜日の午後パソコン教室が開かれているそうよ。
へぇ、そうなのか。
私も、美雄が話してくれたように学校や家庭だけでなく、子どもたちが地域に暮らす人たちと接して、その人達を生きた教材として学ぶことが大切だと思うわ。教科書だけじゃわかんないこと多いもの。
美雄が大人になったとき、どんな大人になるのかなぁ。